

CO・GOの意義と対応

要観察歯 (CO=^{シーオー}Questionable Caries under Observation) について

1. COの意義

学校歯科保健の分野で要観察歯 (CO) が取り入れられたのは、学校を核として、地域の歯科医療機関と家庭が連携を密にして適切な指導・観察・管理を行うことにより、初期のう蝕病変を疑わせる歯が実質欠損 (う窩) を伴うう蝕病変へ進行するのを予防することを目的としている。

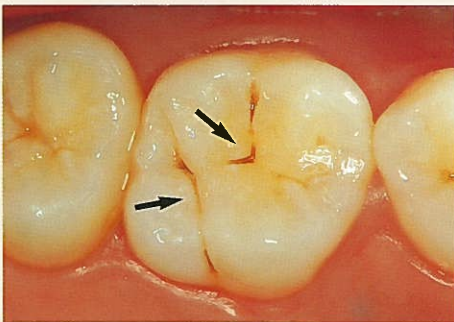
2. COの基準

主として視診にて明らかなう窩は確認できないが、う蝕の初期病変の徴候 (白濁・白斑・褐色斑) が認められ、その状態を経時的に注意深く観察する必要のある歯で、具体的には次のようなものが挙げられる。

1. 小窩裂溝において、エナメル質の実質欠損は認められないが、褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの (CO例1、CO例2)
2. 平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁や褐色斑等が認められるがエナメル質の実質欠損の確認が明らかでないもの (CO例3、CO例4)
3. 精密検査を要するう蝕様病変のあるもの (特に隣接面) (CO例6)

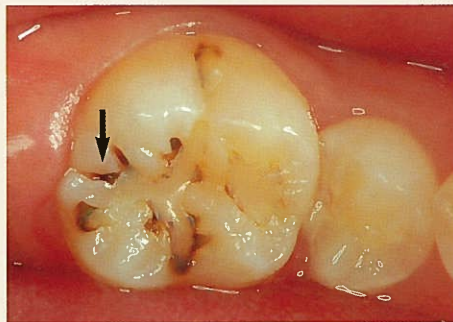
3. 健康診断におけるCOの症例

CO例 1



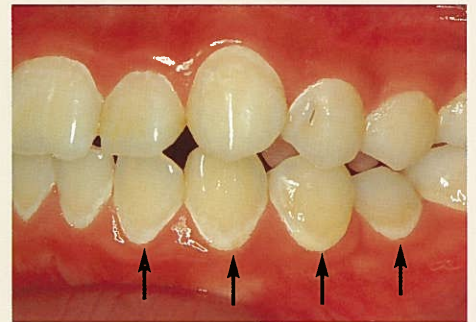
小窩裂溝の着色

CO例 2



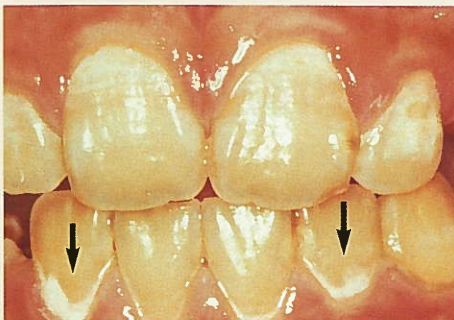
充填物の周囲に見られる着色

CO例 3



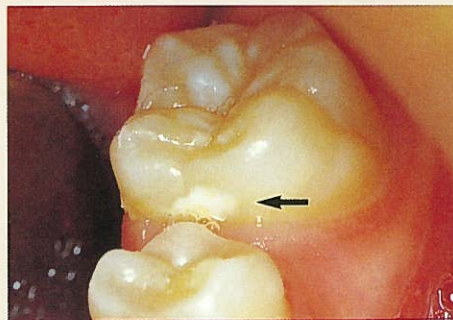
平滑面に見られる白濁

CO例 4



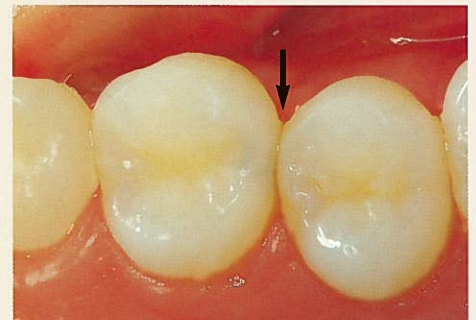
平滑面に見られる白濁

CO例 5



隣接面に見られる白濁

CO例 6



隣接面に見られるう蝕様病変 (要精検)